

巻末資料

資料① 入校式(2016.6.1)



資料② 修了式(2017.3.22)

修了証の授与



「絆」を表紙にした3期生手作りアルバムを手にして



資料③ 受講説明会(2016.4.13、4.16)



資料④ ハッピーキャリアプログラム ホームページ画面



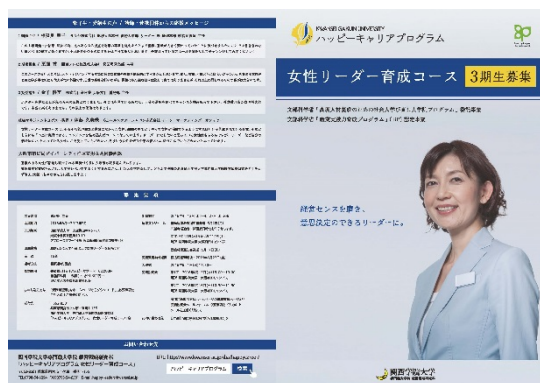
資料⑤ ハッピーキャリアプログラム ホームページ画面にて紹介ムービー掲載



資料⑥ ハッピーキャリアプログラム フェイスブック画面



資料⑦ パンフレット



資料⑧ Facebook 広告



資料⑨ 大阪市営地下鉄御堂筋線にてつり革広告



資料⑩ 14 大学合同成果発表フォーラム(2016.12.16)

於：イイノホール&カンファレンスセンター



資料⑪ 産官学連携フォーラム 女性の活躍はこれからの企業を変える、社会を変える
(2017.3.11)



第1部
「女性リーダー育成コース3年間の歩みと意義」

文部科学省より国が女性活躍に期待することは何かをお話しいただき、本プログラムからは3年度間の事業の歩みと今後の事業展開をお話しします。

☒ 女性活躍に向けて、大学・企業に期待すること

☒ 女性リーダー育成コース3年間の歩みー事業報告と今後の展開ー

第2部
パネルディスカッション
「産官学で考えるこれからの女性活躍」

女性活躍推進に積極的な企業、本プログラムと同様に女性活躍推進プログラムを展開する大学、プログラムの受講生を交えて、産官学でこれからの女性の活躍を考えます。

積水ハウス株式会社

福岡女子大学
イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム

明治大学
女性のためのスマートキャリアプログラム

関西学院大学
ハッピーキャリアプログラム
女性リーダー育成コースを女性の仕事観・起業コース



左から 大内、ゲストの高橋氏、高島氏、牧野氏、伊藤氏、森田氏、木村氏

当日の様子を HP でビデオ公開



資料⑫ シラバス例（経営戦略）

2016 年「ハッピーキャリアプログラム 女性リーダー育成コース」第 3 期 授業計画

授業科目名	経営戦略	担当者	佐藤善信	実施月	11~12 月
-------	------	-----	------	-----	---------

■講義目的

『もしドラ（もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら）』（現在、イノベーションの考え方を中心とした続編が出ています）はベストセラーになりましたが、それは、マネジメントをストーリー仕立てで等身大で説明したからです。本講義でも、できる限り経営戦略を身近に感じることができるように授業を行い、講義目的である経営戦略の基本的な考え方や分析ツールを、実際の企業のストーリーをまとめたケースを使用して、等身大のレベルで自由に使いこなせるようにしたいと考えております。

■教科書＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

教科書は使用しません。講師が講義資料を作成し、事前配布したり、当日に配布したりします。

■各回ごとの授業内容

- 1・2：経営戦略とは何かについての全体像を考えます。その後、事業の定義について多面的に考えてみたいと思います。経営戦略を正しく立案・実行するために、事業はどのようにして定義すればよいのでしょうか？ この質問に回答することがすべての経営戦略の出発点となります。
- 3・4：競争戦略について考えます。具体的には、競争者の種類や競争者との関係について考えます。経営戦略の理想を言えば、競争者が存在しないことです。そのような理想的な状況をどのようにして作り出すのか、つまり製品やサービスの差別化と新しい市場の創造の 2 つについて考えます。また、「模倣する側」と「模倣される側」の対応方法についても考えます。
- 5・6：経営資源について考えます。よく経営の構成要素として、「ヒト、モノ、カネ、ジョウホウ」と言われます。経営戦略を考える際に、経営資源をどのように獲得し、蓄積し、そして展開してゆけば良いのかを考えます。企業の創業時からの時間的な経過（ライフサイクル）の視点も経営資源を考える際に重要となります。
- 7・8：これまでの議論をベースにして、事例（ケース）を使って、経営戦略について総合的に考えます。そうしたなかで、これまで学習してきたさまざまな理論的概念や分析ツールを応用しながら使いこなせるようにしていきます。ケースは身近な中堅企業を取り上げる予定です。意見交換に気軽に参加していただけるように持っていきたいと思います。

■授業方法

事前の簡単な学習課題に基づいて、白板やプロジェクターを使用した講義（レクチャー）、意見交換、実習（フレームワークや分析ツールの実習と確認）、グループ発表など、さまざまな方法を使って授業を進行させていきます。

■参考文献＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

授業中に適宜、紹介いたします。

■成績評価方法・基準

以下の 2 つの要素から評価します。授業中のクラス貢献度（発言内容やグループディスカッションでの役割）：40%、第 4 回目の授業終了後の課題レポート（3 枚程度）：60%。

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連

毎回、事前に配布したケースの課題を中心に授業は進行します。毎回の事前のケース分析はそれほど大きな負担にはなりませんが、大きな成果が期待できます。必ず事前にケースの課題にしたがってケースを分析して授業に臨んでください。分析結果は提出する必要はありません。ご自分用のメモで OK です。これまで学習してきたことの総まとめのつもりで受講してください。

資料⑫ シラバス例（データサイエンス）

2016 年「ハッピーキャリアプログラム 女性リーダー育成コース」第 3 期 授業計画

授業科目名	データサイエンス	担当者	羽室行信	実施月	11～12 月
-------	----------	-----	------	-----	---------

■講義目的

本講義では、近年注目を集めているデータサイエンスについての初歩的な知識と技術を学習してもらうことを目的としています。データサイエンスは、ビジネス分野においても、企業におけるデータの蓄積が進む中で非常に重要な分野に成長しつつあります。その中でも、特にマーケティングのケースを中心に上げ、より実践的な知識と技術を身につけることができる構成になっています。

■教科書＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

資料を配布します。

■各回ごとの授業内容

1-2 データサイエンス入門

近年のコンピュータ技術の進展に伴い、企業内部には多様なデータが蓄積されるようになりました。またインターネットを通じて外部データの取得も容易になってきています。そしてこれらのデータを企業経営に積極的に活かしていこうという動きが活発化してきています。本講義ではデータサイエンス登場の背景、およびそこで必要となる統計や機械学習、データマイニングといった諸技術の概要について講義します。

3-4 相関ルールマイニング

大規模データから有用な知識を発見する手法として「相関ルールマイニング」という手法があります。相関ルールマイニングは、商品間の関係性について自明でない知識発見を実現します。「週末にビールを買う人は高い確率でオムツを購入する」という話を耳にされた方も多いと思います。本講義では、Excel を用いて企業における実データを利用した相関ルールの解析について学習を進めていきます。

5-6 焼肉店の売上データの分析

3-4 で習得した方法を焼肉店の売上データに応用してみましょう。まずは、焼肉店の実際の売上データを提供します。基礎的な統計解析から始め、相関ルールマイニングを適用することで、商品の関連性についての解析を進めていきます。これらの分析は、3～4 人のグループにより学習を進めてもらいます。単にデータを解析するスキルだけでなく、得られた結果をビジネスとしてどのように解釈するかについての洞察力が求められます。

7-8 集めたデータを解析して、企業に提言する。

5-6 で行なったデータ解析を元に、企業に対する提言を行なってください。例えば、新たなセットメニューの提案や「もう一品」の推薦方法といった提言でも良いでしょう。ポイントはデータ解析の結果得られた結果を元にした根拠のある説得的な提言を行うことにあります。

■授業方法

1-2 においては講義を中心に進めていき、3-4 ではコンピュータの演習とグループディスカッションを中心に進めていきます。5-6 ではデータ応用の実践編です。適宜講義形式のレクチャーも行いますが、基本的には自らの手を動かしてもらいます。7-8 ではグループ発表を行なってもらいます。

■参考文献＜著者『タイトル』出版社、出版年＞

加藤直樹他「データマイニングとその応用」朝倉書店、2008。

■成績評価方法・基準

最終講義でのグループ発表内容（60%）と講義への参加状況（40%）を総合的に考慮して成績評価を行います。

■準備学習等についての具体的な指示および他の科目との関連

Excel を利用するので、基本的な操作方法に不安がある人は事前に相談してください。

資料⑬ 授業の様子

プレゼンテーション：

外国人講師による授業



受講生のプレゼンテーション



組織マネジメントⅡ：

グループ発表



グループワーク



ゲスト講師の伊藤久美氏を囲んで



組織マネジメントⅢ：

ゲスト講師の中野星子氏をお招きして



アクションラーニング：
グループワーク



イノベーション：



資源マネジメント：



経営戦略：
ケースメソッド授業



グループディスカッション



人的資源とキャリア開発：

授業見学する三井業際研究所様



ケースメソッド授業 「KM ユナイテッド」

社長の竹延幸雄氏を招いて



マーケティング：

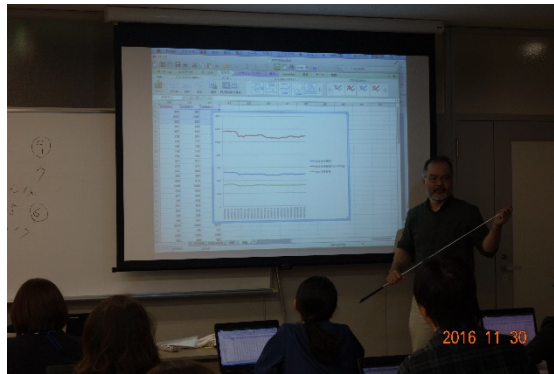


事業革新：



データサイエンス：

実在企業のデータを使ったワーク



資料⑭ ハッピーサポート

経営トップセミナー：「JFE 商事でのマネージメントを振り返って」

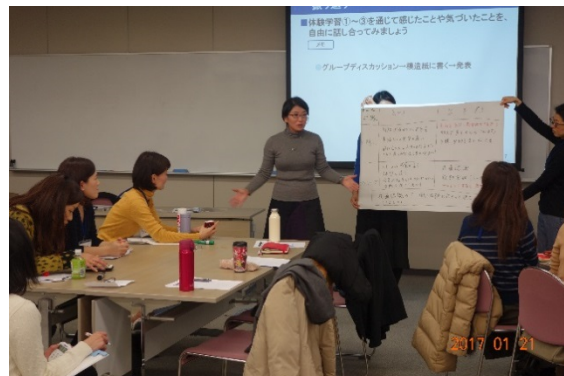
講師の吉岡康平氏を囲んで



上司サポートセミナー：



単発セミナー：「チームビルディング」



メンター相談会：

メンターを囲んで



グループに分かれて相談



(左から)メンターの伊藤みどり氏、黒田亜希子氏、呉本紀子氏、伊藤久美氏



会員 SNS：

ハッピーキャリア SNS



キックオフ兼ハッピーキャリア大同窓会



資料⑮ プログラム開発委員会と協議の場(2017.1.24)

評価委員の松井氏と伊藤氏



女性リーダー育成プロジェクト



プログラムを支えたメンバー

2015.9~2017.5

(肩書きは 2017.5.20 現在)

事業責任者	西尾宇一郎	関西学院大学経営戦略研究科	研究科長・教授(～2016.3)
	定藤繁樹	関西学院大学経営戦略研究科	研究科長・教授(2015.4～2017.3)
	佐藤善信	関西学院大学経営戦略研究科	研究科長・教授(2017.4～)
コーディネーター	大内章子	関西学院大学経営戦略研究科	准教授
事務担当者	澤村 裕	関西学院大学経営戦略研究科	事務長
事務局スタッフ	内藤順子	関西学院大学経営戦略研究科	(～2015.9)
	鬼木真紀	関西学院大学経営戦略研究科	(2015.10～)
	山本倫子	関西学院大学経営戦略研究科	(2015.10～2016.7)
	入谷さゆり	関西学院大学経営戦略研究科	(2016.9～2017.3)
	杉山悦子	関西学院大学経営戦略研究科	(2017.4～)
再委託先	(株)ヒューマンラボ；取締役 船越伴子、黒澤ちづる コンピュータコンサルティング会社「TOPICS」；社長 高田茂樹		

連携企業・団体

株式会社大丸松坂屋百貨店、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
株式会社内田洋行、株式会社シュゼット、積水ハウス株式会社、株式会社大広
阪急電鉄株式会社、WDB 株式会社、ワンゲイン株式会社
大阪市民局、大阪商工会議所、大阪市女性起業家情報交流協会
経済産業省近畿経済産業局、公共財団法人 21 世紀職業財団、
株式会社オー・ティ・シー、フォー・ユー・ライフケア株式会社

講師

佐藤 善信 (クリティカルシンキング、組織マネジメントⅢ、経営戦略)
船越 伴子 (プレゼンテーション、組織マネジメントⅠ、アクションラーニング、
資源マネジメント)
Haydn Cavalier (プレゼンテーション)
Michael Hollenback (プレゼンテーション(2 期))
Sean Elliot (プレゼンテーション(3 期))
大内 章子 (組織マネジメントⅡ、人的資源とキャリア開発)
西本 凌 (資源マネジメント、事業革新)

羽室 行信 (データサイエンス、資源マネジメント)
 岡田 克彦 (データサイエンス、ビジネスに活かす経済数字の読み方(1~2 期))
 玉田 俊平太 (イノベーション)
 谷村 真理 (会計・財務諸表、資源マネジメント)
 北村 秀実 (マーケティング・マネジメント(1~2 期))
 定藤 繁樹 (起業とビジネスプラン)
 山本 昭二 (マーケティング(3 期))
 大槻 美聡 (ビジネスリサーチ(3 期))

ゲスト講師

岩田喜美江 (組織マネジメントⅠ；1 期)
 公益財団法人 21 世紀職業財団法人 会長
 伊藤みどり (組織マネジメントⅠ；2~3 期)
 積水ハウス株式会社 経営企画部ダイバーシティ推進室長 常務理事
 伊藤 久美 (組織マネジメントⅡ；1~3 期)
 フォー・ユー・ライフケア株式会社 取締役
 中野 星子 (組織マネジメントⅢ；1~3 期)
 日本航空株式会社 執行役員 西日本地区支配人
 福 富美子 (事業創成；1~2 期)
 株式会社アルビス 代表取締役

E-learning 担当スタッフ

高田 茂樹 コンピュータコンサルティング会社「TOPICS」社長
 田村 智裕、永野 裕太郎、西谷 直登、前田 めぐみ、篠原 るり

キャリアカウンセラー

石井 里奈 キャリアコンサルタント/CDA/産業カウンセラー/メンタル、ケア心理士

経営トップセミナー

神谷 有二 サントリーホールディングス株式会社顧問、元サントリー(株)取締役、
 元サントリー興産(株)代表取締役社長 (1~2 期)
 吉岡 康平 JFE 商事株式会社顧問、前 JFE 商事株式会社代表取締役副社長 (3 期)

単発セミナー

久世 浩司 ポジティブサイコロジースクール代表 (1 期)
 吉田真知子 ソーシャルスキル・プログラム代表 人材活性コンサルタント (2 期)

横田 幸恵 クオリティ・オブ・ライフ代表 人材開発コンサルタント (3期)

メンター相談会

伊藤 久美 フォー・ユー・ライフケア株式会社 取締役

伊藤みどり 積水ハウス株式会社 経営企画部ダイバーシティ推進室長 常務理事

呉元 紀子 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 ダイバーシティ推進室
主事

黒田亜希子 積水化学工業株式会社 人事部人材開発グループ ダイバーシティ・マネジメント担当部長

松井伊代子 大阪商工会議所 人材開発部次長 (1~2期)

評価委員

伊藤 久美 フォー・ユー・ライフケア株式会社 取締役

藤田 浩之 大阪市市民局 ダイバーシティ推進室 男女共同参画課 課長 (1~2期)

松井伊代子 大阪商工会議所 人材開発部次長 (3期)

※本報告書の執筆は大内章子が担当した。資料整理は鬼木真紀・杉山悦子が行った。また、企業ニーズ調査のデータ整理・分析は、関西学院大学女性研究者研究活動支援者制度を利用して筆者の依頼で横田幸恵氏が行った。

本報告書は、文部科学省の「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」委託費による委託業務として、学校法人 関西学院 関西学院大学が実施した平成28年度「ハッピーキャリアプログラム 女性リーダー育成コース」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。